

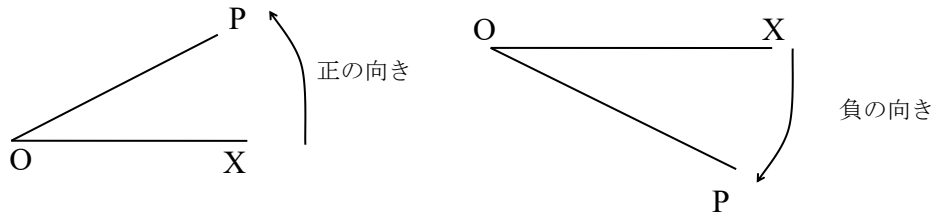
[インデックスに戻る](#)

10. 三角関数

10-1. 定義と基本性質

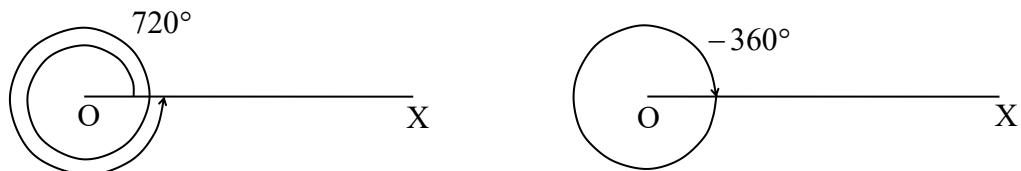
10-1-1. 角の拡張

10-1-1-1. 一般角



平面上に半直線 OX があるとする。この半直線を点 O を中心に回転して得られる半直線 OP を動径といい、もとの半直線 OX を始線という。時計の針と反対向きの回転を正の向きの回転といい、始線 OX から動径 OP への移動量を正の向きに測った角を正の角という。時計と針と同じ向きの回転を負の向きの回転といい、始線 OX から動径 OP への移動量を負の向きに測った角を負の角という。

正の角は $+30^\circ$ や 30° のように正の数を用いて表す。負の角は -45° のように負の数を用いて表す。動径が正の向きに 1 回転して OX と重なったときは 360° 、2 回転して OX と重なったときは 720° とみなす。負の向きに 1 回転したときは、 -360° である。

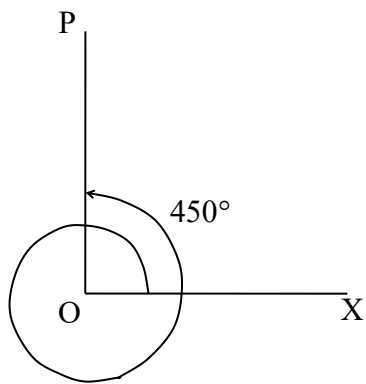


このように、回転の向きと大きさを表す意味での角を一般角という。一般角では、 360° より大きい角や、 0° より小さい角（負の角）を考えることができる。

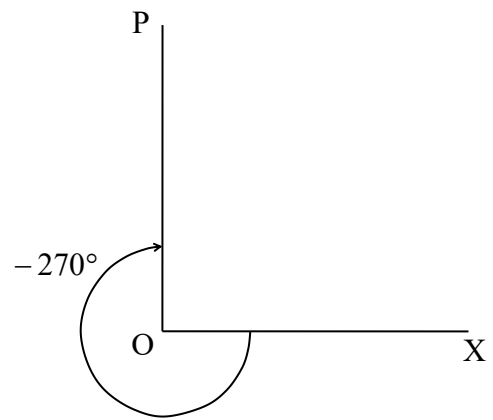
一般角 θ に対して、始線 OX から角 θ だけ回転して得られる動径 OP を、 θ の動径という。また、 OP が θ の動径であるとき、 θ を動径 OP の表す角という。

(例)

450°の動径



-270°の動径



[インデックスに戻る](#)